

小倉擬百人一首



假令死に死ねば云井小倉擬百人一首  
 及意と歎く人難屋の娘は凡俗の豪傑を擬て  
 輪廻を不華と多し今此時とあはれを言世を見  
 惟盛卿の遺徳の首途にこれ鉄の種をたもて  
 木下草種員筆記



九十九



彫竹





xrite ColorChecker® Color Rendition Chart